

◆入室までの流れ

①担任と保護者との相談

在籍校の担任と保護者で、すまいるルームの入室についての確認をします。

②教育相談・特別支援教育課へ連絡

世田谷区の支援教育課へ電話で申し込みをします。(6453-1514)

後日、郵送にて届く書類に必要事項を記入の上、返送します。

③区の教育相談室での面談と発達検査

教育相談室で、心理の専門的な見地から発達検査を行い、特別支援教室の活用が望ましいかどうかの意見をまとめます。

④在籍校の校内委員会での検討

在籍校にて、すまいるルーム入室についての検討会議を開き、意見をまとめます。

⑤利用支援委員会での検討

教育相談室や在籍校でのお子さんの様子をもとに、教育相談室の相談員、在籍校の教諭等の意見から検討を加え、入室に関する意見をまとめます。

⑥特別支援教室の利用開始

入室検討の結果について、支援教育課から保護者に連絡。すまいるルームでの指導が必要と判断された場合は、特別支援教室での指導開始日程や時間割をお知らせします。

※指導期間は、原則1年間となります。

◆ご相談・お申込み・問い合わせ

在籍校（入学予定校）の特別支援コーディネーターにご相談ください。

◆入学前に相談したい…

○秋に行う就学時検診の際に相談することができます。

- ▶検診の最後に、「親子面談」があります。その場で「特別支援教室への入室を考えている」という旨をお伝えください。
- ▶お子様の特性についてお伺いしますので、簡潔に話せるよう、ご準備ください。

○2月に行う、新一年保護者説明会の際に相談することができます。

- ▶特別支援コーディネーターまたは巡回教員にお声掛けください。

○随時、電話での相談も可能です。

- ▶特別支援コーディネーターまたは巡回教員にご相談ください。

◆申し込みにあたって

○知的な遅れがなく、週1～2時間程度の指導で、困難や集団生活への適応について改善が期待できるお子さんが対象となります。

○入室にあたり、診断は任意ですが、**WISC-IV等の発達検査については必須となります。**（区の教育相談室でも行っています）

保護者用

特別支援教室

すまいるルーム

—案内—



世田谷区立深沢小学校

【特別支援教室拠点校】

世田谷区立深沢小学校 TEL 03-3428-1366
すまいるルーム直通 TEL 03-3428-8931

【特別支援教室巡回校】

世田谷区立駒沢小学校 TEL 03-3424-0855
世田谷区立桜町小学校 TEL 03-3703-0161

◆巡回指導で目指すもの

子ども一人一人の実態を正しく理解し、その特性に合った指導を行う。
そして、その子らしさを大切にしながら意欲をもって学習や生活をしたり、自分の気持ちや考えを言葉で相手に伝えたりすることができるようにすることを目指す。

◆巡回指導とは…

○拠点校（深沢小）から巡回校（駒沢小、桜町小）に巡回指導教員が出向き、指導を行います。

○子どもたちは各校に設置された教室に移動して指導を受けます。（保護者の送り迎えはありません）

◆指導形態、その他

○週1～2時間程度で、1単位時間を45分間行います。

○個別指導と小集団指導を行います。

○指導の様子は、連絡ノート、場合によっては電話等で保護者の方や在籍学級担任にお伝えします。

◆このような子どもたちが通っています

【通常の学級に在籍しながら、以下の特性をもつ子どもたち】

○自分の気持ちを言葉で表現したり、伝えたりすることが苦手

○初めて体験することや、いつもと違う環境に強い不安を感じる

○授業中にふらっと立ち歩いてしまうなど、落ち着きがない

○周りの些細なことに気を取られ、授業に集中することが難しい

○興味関心の偏りが強い

○集団行動が苦手な集団から外れることが多い

○細かな手先の作業や全身運動が極端に苦手

○身の回りの整理整頓が苦手

○忘れ物が極端に多い

○特定の教科や一部の学習でのつまずきが多い

○場面緘黙や神経症の習癖（チックや指しゃぶりなど）が見られる

○不安が強く、登校しぶりが見られる

◆指導で大切にしていること

○子どもたちが興味関心を持っていることを活かして、苦手なことにも意欲的に取り組めるようにしています。また、得意なことを活用することで、自信をもてるようにします。

○子どもたちが自分自身を客観的に振り返ることを通して、自分の感情や行動をコントロールすることができるようにします。

○子どもの認知特性（※1）に合った指導をすることで、自分自身の課題に向き合って考え、改善に向けて挑戦できるようにします。

○一人一人の子どもの認知特性に合った学習方法を取り入れることによって、達成感をもって学習を進められるようにします。

○在籍する学級担任や保護者、各関係機関と連携を取りながら、効果的な指導を行ったり、有効な支援方法を模索したりしていきます。

（※1）『認知特性』

目で見る、耳で聴くなどの五感を中心とした感覚器から入ってきたいろいろな情報を、脳の中で処理（「整理」「記憶」「理解」）する能力のこと。その処理の仕方は、人によって違います。

